

大熊町仮設焼却施設 令和 6 年度維持管理記録

項目	測定頻度	項目	基準値	4月(※6)	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特定廃棄物処理量	—	処理量 ton	—	82.57	351.62										
一般廃棄物処理量	—	処理量 ton	—	518.69	3,670.07										
産業廃棄物処理量	—	処理量 ton	—	42.56	396.86										
燃焼ガス ※1		運転期間の平均値	—												
	連続	燃焼室温度 °C	800以上	--	947										
	連続	集じん装置No.1入口温度 °C	200以下	--	180										
	連続	煙突一酸化炭素濃度 ppm	100以下	--	1										
たい積したばいじんの除去を行った日	—	冷却設備	—	冷却設備および排ガス処理設備にたい積したばいじんの除去は、仮設焼却炉稼働中は自動で行われる。											
	—	排ガス処理設備	—												
排ガス中のダイオキシン類濃度 ※2	1回/年	排ガス採取位置	—	煙突											
		排ガス採取日	—	--	--										
		測定結果通知日	—	--	--										
		測定結果 ng-TEQ/m ³ _N	0.1以下	--	--										
排ガス中のばい煙量 またはばい煙濃度 ※3	1回/月	排ガス採取位置	—	煙突											
		排ガス採取日	—	--	5月10日										
		測定結果通知日	—	--	5月30日										
		硫黄酸化物	測定結果 ppm	100以下	--	0.64未満									
		ばいじん	測定結果 g/m ³ _N	0.02以下	--	0.0027									
		塩化水素	測定結果 mg/m ³ _N	150以下	--	2.1									
		窒素酸化物	測定結果 ppm	200以下	--	110									
排ガス中の放射性物質濃度	1回/月	排ガス採取位置	—	煙突											
		排ガス採取日	—	--	5月16日										
		測定結果通知日	—	--	5月17日										
		放射性物質濃度 ※4	測定結果	¹³⁴ Cs Bq/m ³	※5	--	ND								
				¹³⁷ Cs Bq/m ³		--	ND								
	合計 Bq/m ³	--	ND												

※1 燃焼ガスの各数値は、連続記録計の平均値を示す。
 ※2 排ガス中のダイオキシン類濃度の測定について、実施していない月は「--」を記載している。
 ※3 排ガス中のばい煙量、ばい煙濃度の基準値は生活環境影響調査で使用した値である。
 ※4 NDとは検出下限値未満であることを示している。
 ※5 排ガス中の放射性物質濃度の基準値は、¹³⁴Cs濃度(Bq/m³)/20(Bq/m³)+¹³⁷Cs濃度(Bq/m³)/30(Bq/m³)で算出される値が1以下である。
 ※6 令和6年4月は休炉中のため測定なし。